**「日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議」アンケート**

本会議では、はじめに文部科学省担当者から「留学生政策」などに関してお話ししていただく予定です。その後、日研生を取り巻く問題について、参加者の間で意見交換をはかり、情報を共有できるようにしたいと考えております。

昨年度、いくつかの大学から事例報告を行っていただいたところ、参加された他の大学からもよい反応が得られました。そこで、今回も事例報告を計画したいと考えております。なお、事例報告後にそのテーマについて討議する時間がほしいとのご意見もいただきました。昨年は十分な時間を取れませんでしたが、今回は考慮してまいりたいと思います。

つきましては、各大学での実践例の報告にご協力くださいますようお願いいたします。

全体で2テーマ、各テーマ3大学として、合計6大学から事例紹介をしていただければと思っております。パワーポイント（あるいは紹介ビデオ）などによる事例紹介を1大学につき12分程度として、テーマごとに質疑応答の時間を設けたいと思っております。

昨年度の参加者アンケートには、下記のようなご提案・ご要望がありました。ご報告テーマの参考例としてご覧ください。

・学内の他のプログラム、他大学の日研生プログラムとの連携

・体験・交流型授業の実例と評価方法

・「日本」専門家養成としての研究指導の方法

・各大学で特に力を入れている日研生の活動

・その他（独自のさまざまな試みなど）

　なお、時間の制約上、事例報告を「行う」とご回答いただいた大学のすべてにご発表いただくことはできないかもしれません。どうかご了承ください。（ご紹介できなかったものにつきましても、文部科学省には、本アンケートの回答をお伝えするようにいたします）

大学名：

記入者所属・氏名：

記入者アドレス：

・事例報告について　（　行う　・　行わない　）←　○をおつけください

・事例報告のテーマ　（　　　　　　　　　　　）←　上記の例以外でも結構です

◎ 回答は９月２９日までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp、メールタイトル「日研生会議（大学名）」としてください）、またはFAX（072-730-5074）でお送りください。

◎「行う」とご回答くださった大学には、調整などのため、あらためてこちらからご連絡させていただきます。

◎ご発表くださる場合には、Ａ４サイズ１枚程度のハンドアウトをご準備ください。

◎会議の活性化のため、事例報告にご協力くださいますようお願いいたします。